

公益社団法人全国結核予防婦人団体連絡協議会

令和4年度事業計画書

(令和4年1月1日～12月31日)

令和4年度計画した事業の概要は、次のとおりである。

1. 本協議会定期社員総会の開催

結核予防全国大会の一環行事として、本協議会の令和4年度定期社員総会を開催する。

2. 第73回結核予防全国大会の後援

結核予防会主催の第73回結核予防全国大会を後援する。

なお、本協議会関連の主なる行事は次のとおりである。新型コロナウイルス感染症対応のため、開催地を東京に変更し、1日のみで開催される(10/27支部宛メールリングリスト)。

【第1日】 3月8日(火)

リーガロイヤルホテル東京

イ. 研鑽集会〈オンライン〉

リーガロイヤルホテル東京 3階ロイヤルホールⅡ 13:30～15:10

テーマ「低まん延 新たな目標に向かって～2025年罹患率7を目指して～」

基調講演

演 題：2025年までに罹患率7を目指して(仮)

演 者：森 亨(ストップ結核パートナーシップ日本 代表理事, 結核予防会評議員会長)

座 長：加藤 誠也(結核研究所所長)

シンポジウム

①国内結核対策の取り組むべき課題 大阪府茨木保健所所長 永井 仁美

②世界の目標を達成するための日本の貢献 結核予防会国際部部長 小野崎郁史

③新型コロナウイルス感染症の流行の影響 川崎市健康安全研究所所長 岡部 信彦

④コロナ禍における婦人会活動報告その2 全国結核予防婦人団体連絡協議会 事務局

ロ. 大会式典〈オンライン〉

リーガロイヤルホテル東京 3階ロイヤルホールⅡ 15:15～16:30

式典 議事

3. 結核予防関係婦人団体幹部研修会の開催

結核予防関係婦人団体中央講習会を結核予防会との共催により開催する。

地区別結核予防婦人団体幹部研修会を、開催地区結核予防会各支部と地元婦人会との共催のもとで開催する。

結核予防を中心とした公衆衛生知識の向上と、各参加団体会員相互の交流を目的として実施する。

(1) 第26回結核予防関係婦人団体中央講習会

期 日： 令和4年3月1日（火）
場 所： KKRホテル東京（千代田区）
配信受講人数： 50名（予定）

※結核予防全国大会に合わせ、オンラインによる開催となる。

(2) 地区別結核予防婦人団体幹部研修会

イ. 北海道地区	（北海道）	日程未定	
ロ. 東北地区	（山形県）	//	
ハ. 関東地区	（長野県）	//	（令和3年延期分）
ニ. 東海・北陸地区	（富山県）	//	（令和3年延期分）
ホ. 近畿地区	（奈良県）	日程未定	
ヘ. 中国・四国地区	（高知県）	//	（令和3年延期分）
ト. 九州地区	（大分県）	//	（令和3年延期分）

4. 結核予防週間の共催

厚生労働省、都道府県、政令市、特別区、結核予防会、日本医師会、並びに本協議会共催で、令和4年9月24日～30日に実施する。本週間中には、各地域において全国一斉複十字シール運動キャンペーンをはじめとする各種の行事を行うとともに、結核予防への関心を高める。

5. 教育広報誌「健康の輪」の発行

結核及び公衆衛生全般の知識の向上と会員相互の連携を深める目的で発行しているものであるが、令和4年度は、例年通り3月、7月、11月にそれぞれNo.134、No.135、No.136を発行配布する。体裁は、A4版、12頁で、年3回（1回につき30,000部）発行する。

6. 複十字シール運動の後援、実施

結核予防会主催、厚生労働省・文部科学省及び本協議会后援により実施されている本運動に参加し、結核予防の教育広報並びに資金造成に努める。

具体的には、以下の3事業を実施する。

- (1) 複十字シール運動開始日（8月1日）を中心として、結核予防会本部役員と本協議会会長が厚生労働大臣を、結核予防会各都道府県支部幹部職員と本協議会各都道府県の会長が各知事を表敬訪問し、「大会宣言」の説明に加え、全国及び地域の結核の現状を報告することにより、複十字シール募金運動の意義を理解していただき、各自治体から結核予防思想について広く一般に伝え、一層の普及を図っていただくよう依頼する。
- (2) 結核予防週間の初日（令和4年9月24日）を中心として全国一斉複十字シール運動キャンペーンを、結核予防会各都道府県支部との協力の下に実施し、本運動及び結核予防の普及啓発を図る。
- (3) 平成30年度から結核予防会が開始した寄付型自販機（飲料）の設置に婦人会組織も協力する。

7. 普及広報資材の製作

全国一斉複十字シール運動キャンペーン用資材を作成する。（予定）

8. 国際協力

結核予防会が行っている国際協力事業を進めるにあたっては、複十字シール募金を通じて資金造成に協力する。

また、結核対策スタディツアーは婦人会役員と結核予防会各支部のシール担当者並びに一般の参加を募り、開発途上国の婦人会への結核予防の知識普及啓発への協力をする。

期 日 2022年11月下旬～12月上旬頃

訪問地 カンボジアまたはベトナム

参加者 (未定)

9. 世界結核デー

3月24日はWHOが制定した「世界結核デー」である。その周知についての広報活動を行い、「結核のない世界」をめざす。

10. ストップ結核パートナーシップ日本への参画

国内の結核対策を充実させ、結核低まん延国化を図る。またこれまでの知見を活かして結核が多い地域への支援を充実させる。このため、行政機関、研究機関、市民社会、民間企業などの多様なセクターで構成された連合体を組織し、加盟団体は協調して政治的支援、住民参加を得て日本と世界の結核対策を推進させる。

11. 生活習慣病対策の後援

これまでの僻地・離島を含めた全国津々浦々で結核健診と保健指導を一体として行ってきた経験と実績をこれからの生活習慣病対策に活かすべく、健診と保健指導を中心とする JATA 健康ネットワーク事業を結核予防会本部支部が組織を挙げて推進している。

今日的国民病となった生活習慣病対策に取り組む結核予防会を支援し、さまざまな健診の受診率向上の推進及び生活習慣病対策を国民運動に高めていく。

12. COPD対策事業への取組

COPD（慢性閉塞性肺疾患）の早期発見と早期治療のための普及啓発を行っている結核予防会と協力し、COPD（慢性閉塞性肺疾患）に関する知識を深め国民の認識と理解を高めるために、地域住民をはじめとする社会への積極的な働きかけをして、第二次健康日本21の目標「80%の認知率」達成に協力する。

13. 世界禁煙デー

5月31日はWHOが制定した「世界禁煙デー」である。地球上からタバコの煙がない1日にする運動を行う。

14. 女性の健康週間の協力

厚生労働省、日本産婦人科医会、日本産科婦人科学会主唱の「女性の健康週間」に本協議会は協力関係団体として取り組む。3月1日～8日（ただし、地域の実情による期間延長等の変更は差し支えない）の本週間中には、子宮がん・乳がん健診等の受診率アップや、女性を取り巻く健康課題に対する社会的関心の喚起を図るため、行政が行う各種の啓発事業及び行事等に積極的に協力する。

15. 健康日本21推進全国連絡協議会への協力

すこやか生活習慣国民運動実行委員会の加入団体として、医療、保健、栄養（食生活）、運動、禁煙の各専門分野（分科会）からの情報を共有し、事業展開に協力していく。

また、厚生労働省主催のスマートライフプロジェクトイベントに積極的に参加し、肺年齢測定ブース出展をし「肺年齢体験会」を実施してCOPD（慢性閉塞性肺疾患）の知識を高め、禁煙支援や生活習慣病予防の普及啓発活動を行う。

16. 会議の開催

(1) 定期社員総会

期日 令和4年3月8日（火）

開催方法 書面決議

議案 令和3年度事業報告書 並びに収支決算書 について
令和4年度事業計画書（案）並びに収支予算書（案）について
役員の改選について

(2) 理事会

第1回（書面決裁）

期日 令和4年2月15日（火）（予定）

議案 令和3年度事業報告書 並びに収支決算書 について
令和4年度事業計画書（案）並びに収支予算書（案）について
役員の改選について
会長、副会長、執行理事からの活動報告

第2回（書面決裁）

期日 令和4年3月8日（火）

議案 代表理事及び業務執行理事の互選について

第3回

期日 令和4年11月（予定）

場所 結核予防会5階 大会議室（予定）

議案 令和5年度定期社員総会の開催について
令和5年度事業計画書（案）について
令和5年度収支予算書（案）について
会長、副会長、執行理事からの活動報告